



2011年2月22日

世界初！1台で7パターンの「ベルトループ付け縫製」に対応した 1本針自動ベルトループ付けマシン「AB-1351」を新発売



JUKIは、スラックス・カジュアルパンツのベルトループ付け縫製に最適で、7種類の縫製パターンを内蔵し、フレキシブルに多様なベルトループ付けに対応できる自動機、「1本針自動ベルトループ付けマシン AB-1351」を3月1日から発売いたします。

ベルトループ付けは通常、ループを定寸であらかじめカットし、ループを折り、身生地へ縫い付ける手順を踏みますが、当機では、オペレーターは身生地をセットし、スタートスイッチを押すだけで、ベルトループのカット、折り、縫製をマシンが自動で行いますので、生産性を大幅に向上させることができます。

ベルトループ付けの縫製方法には、アパレルメーカーや製品デザインにより様々なタイプがありますが、当自動機には最もよく使われる7種類の縫製パターンを内蔵し、操作パネルからの操作で容易に縫製パターンを変更することができます。また、JUKI独自の「ループ供給と折込機構」により、バラツキのない美しいベルトループ付けが可能となります。

当機は、当社自動化マシンのラインナップに新たに追加した新機種です。自動化を従来より推進しているお客様はもちろんのこと、賃金高騰・労働力不足などにより、生産性を向上させるマシンが重要視されている国々で、生産性と安定した縫製品質を提供する当自動機で販売を拡大していきます。

◆特長

●生産性の向上

- 操作性の高いパネル(IP-420)を使用していますので、ループ縫製形状や縫製サイズ、縫いパターンの変更、縫製位置等の細かな設定変更もパネルから簡単に行うことができます。また、サイクル縫い設定も可能です。
- パネルに記憶させた以前のデータを呼び出せますので、リポート時の段取り時間の短縮が可能です。
- オペレーターはミシンへ身生地をセットするだけです。ミシンが縫製している間は作業の待ち時間が生じません。そのため一人のオペレーターが2台同時に操作することも可能で、一方のミシンの稼動中に、もう一方の身生地をセットすることで、さらに高い生産性を実現できます。

●脱技能・品質の向上

- 通常のミシン(汎用機)の場合は、縫い寸法とゆとり量を安定させるにはスキルが必要ですが、JUKI独自のツイン駆動式のループ供給機構を採用しましたので、ベルトループを引っ張るクランプと送り出すローラーが同調して、柔らかく伸び易い素材でも、正確なベルトループ長さを確保します。これにより、作業に不慣れな新オペレーターも、ベテランオペレーター同様に、ゆとり量(ベルトの厚みなどを考慮した余裕分)が一定した縫い付けが可能となり、バラツキのない美しいベルトループ付けが行えます。

◆発売日 【国内】 2011年3月1日

◆希望小売価格 【国内・税込み・完成品価格】

- AB-1351DSZZ 2,352,000円
仕様:1本針自動ベルトループ付けミシン、装置・オプション無し
- AB-1351DSAZ 2,407,650円
仕様:1本針自動ベルトループ付けミシン、ループ引き出し装置付き、ペダルスイッチ無し

■当リリースに関する問合せ先

JUKI株式会社 工業用ミシン事業部 営業部	飛田 茂	TEL:042-357-2254
JUKI株式会社 経営企画部 広報・IRグループ	林 桐子	TEL:042-357-2398